

## 干ばつに注意！品質・収量に黄信号！！

7月30日から無降雨が続いており、今後一ヶ月の降水量も少ない見込みです。

大豆では、土壌の乾燥により、落花・落莢、小粒化の被害を受け収量低下につながるため、以下の対策を検討しましょう。

### (1) 暗きよ栓の管理（全ほ場）

- ・暗きよ栓を閉めて、土壌水分保持に努める。

### (2) 畝間かん水（1日以内に地表水を排水できるほ場）

- ・朝や夕方から最頂葉の個葉が直立し、ほ場全体で葉の裏面が目立ってきた場合に実施する。
- ・かん水時は暗きよ栓を閉じ、かん水終了後に開放する。



最頂葉の個葉が直立（かん水のめやす）

